

都立多摩職業能力開発センター NEWS LETTER

今号の紙面

- 第1面 <<新科目>>「水まわりスペシャリスト科」のご紹介
- 第2面 「中小企業人材スキルアップ支援事業」のご案内
- 第3面 経営者インタビュー①(株式会社ナガセ 代表取締役社長 長瀬 雄一郎 氏)
- 第4面 生徒たちが多数受賞しました!【若年者就業支援科(溶接コース)】



新科目 水まわりスペシャリスト科

業界で不足している水回り関連設備を扱う職人・施工管理者を育成!

1年コース

建築設備業界で不足している、水まわりに関連する設備を取扱う職人や施工管理者を育成します。基本作業の掘り下げや安全教育の拡充をとおして、実践的な実習の中で最新技術の活用を取り入れ、時代に沿った訓練を展開していきます。リニューアルにあたり、屋外給排水管施工(外構)にかかる訓練をカリキュラムに加えています。



戸建て住宅(転がし配管施工)



屋外配管施設【外構掘削作業】
(小型車両系建設機械運転特別教育)

◆取得できる資格等◆

- ・技能士補
- ・小型車両系建設機械運転特別教育修了証(整地・運搬・積込み用及び掘削用)(※3t以上)
- ・玉掛けの業務特別教育修了証(※つり上げ荷重1t未満)
- ・酸素欠乏・硫化水素危険作業特別教育修了証
- ・自由研削といしの取替え等特別教育修了証
- ・携帯用丸のこ盤等取扱安全衛生教育修了証

◆取得できる受験資格◆

- ・2級配管技能検定[建築配管作業]

◆取得を目指す資格等◆

- ・第二種電気工事士
- ・排水設備責任技術者

求人をお待ちしています!



水まわりスペシャリスト科

若年者就業支援科(溶接コース) 生徒たちが多数受賞しました!

第33回優秀板金製品技能フェア

主催「職業訓練法人アマダスクール」(株式会社アマダ)

【学生作品の部】金賞(第1位) 令和元年10月生一同

「第33回優秀板金製品技能フェア」に出品した生徒共同作品「不滅の花 メタルリリー」が【学生作品の部】で最高位の金賞を受賞しました!

国内外から288点の応募があり、【学生作品の部】には国内外の高校、大学、職業訓練校等から23作品が応募した中での受賞です。

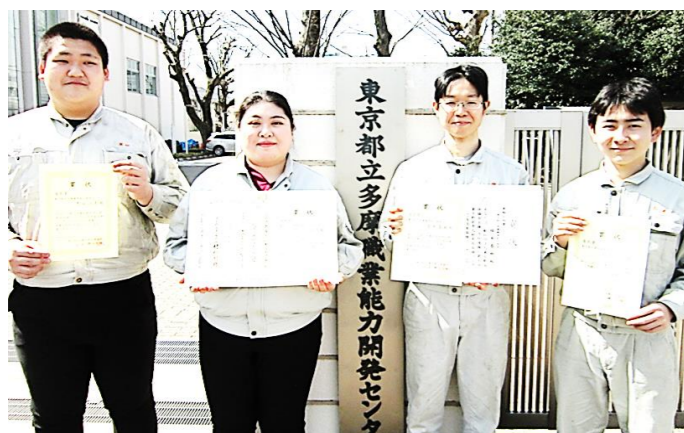
受賞作品「不滅の花 メタルリリー」→



第7回東京都若手人材育成溶接コンクール

主催「一般社団法人東京都溶接協会」

一般社団法人東京都溶接協会主催の「第7回東京都若手人材育成溶接コンクール」では、都内の高校生等50名が参加した中、当センターの在校生5名(うち3名は既に修了)が、優秀賞(第2位)と優良賞(第3位、5位~7位)を受賞しました!



▲左から 黒田さん、志村さん、榎本さん、松本さん(緒佐島さんはご都合が合わず来所されませんでした)

◆東京都溶接協会会長賞◆

- 優秀賞(第2位) 志村 蓉子さん
※東京都産業労働局長賞、産報出版賞を同時受賞
- 優良賞(第3位) 榎本 春樹さん
※産報出版賞を同時受賞
- 優良賞(第5位) 黒田 涼馬さん
- 優良賞(第6位) 松本 耀斗さん
- 優良賞(第7位) 緒佐島 裕さん

お問い合わせ先

○都立多摩職業能力開発センター(西立川)

042-500-8700(代)

検索



○都立多摩職業能力開発センター八王子

042-622-8201(代)

検索



○都立多摩職業能力開発センター府中

042-367-8201(代)

検索



イメージキャラクター



令和3(2021)年3月20日発行
都立多摩職業能力開発センター
人材育成課 技能担当

★ たまねじくんは、「多摩」どものづくりの「ネジ」からなる、多摩職業能力開発センターのイメージキャラクター♥
「ネジ」だけに、「技能と人」、「人と仕事」をガッチリとつなぎます!

★ たまねじくんは商標登録しています。

NEW

中小企業人材スキルアップ支援事業

中小企業等が従業員に対して実施する職業訓練の取組を支援し、従業員のスキルアップに係る経費の一部を助成します。

助成金名称	社内型 スキルアップ助成金	民間派遣型 スキルアップ助成金
(旧名称)	(旧 東京都中小企業職業訓練助成金)	
職業訓練の実施方法	集合型の職業訓練に対する助成	
助成内容	中小企業及び団体が従業員に対して、 自社内で実施する短時間のOFF-JTによる職業訓練[※] の経費を助成 <small>※同時かつ双方向で行うオンライン会議システムを利用した訓練も対象</small>	中小企業が従業員に対して、 民間の教育機関が提供する短時間の集合型の訓練に派遣して行う職業訓練 の経費を助成
訓練時間	6時間以上12時間未満	3時間以上20時間未満
	社内型と民間派遣型を合計して、1人あたり1年度内100時間まで	
終了者数	2人以上	1人以上
助成額	助成対象受講者 1人1時間あたり430円	受講料等 [※] の2分の1 (助成対象受講者1人あたり2万円まで) <small>※受講料等(助成対象経費) 受講料、教科書代及び教材費(税抜き価格)</small>
	社内型と民間派遣型を合計して、1事業者あたり1年度内100万円まで <small>※限度額まで繰り返し申請できます。</small>	

申請できる企業等 中小企業又は中小企業の団体等で、都内に本社又は主たる事業所があること

対象となる訓練の期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日

申請期間 随時受付(令和3年2月17日から令和4年1月17日まで)

※申請書類の作成前に、必ずご相談ください。

お問い合わせ先 センター(西立川) 人材育成課 TEL.042-500-8700



◎詳細は「TOKYOはたらくネット」をご覧ください。▶▶▶▶

(社内型・民間派遣型)



※この他に、教育機関等が提供するeラーニングを活用した職業訓練に対する助成金(「オンラインスキルアップ助成金」)があります。

申請窓口(お問い合わせ先)は下記のとおりです。

オンラインスキルアップ助成金のお問い合わせ先

産業労働局 雇用就業部 能力開発課 認定訓練担当 TEL.03-5320-4718



◎詳細は「TOKYOはたらくネット」をご覧ください。▶▶▶▶

(オンラインスキルアップ)

経営者インタビュー①

～人材育成、職業訓練等に関する”ホンネ”を聞く～

このコーナーでは、多摩地域の中小企業の経営者の方々に人材確保・人材育成などについてインタビューした内容の一部を紹介します。

第11回目となる今回は、株式会社ナガセ 代表取締役社長 長瀬 雄一郎氏 にご登場いただきました。(今回は感染防止のため、リモートによるインタビューとなりました。)

株式会社ナガセ
所在地：東京都武蔵村山市伊奈平3-21-3
創業：昭和20年10月
事業内容：金属のへう絞り加工、精密板金加工、機械加工
従業員数：76名
会社HP：<https://www.nagase-shibori.co.jp/>



長瀬社長

Q1 採用に当たっては、どのような点を重視していますか。

製造業に興味があるか、きちんと人と話ができるか、聞かれたことにしっかり答えることができるか、という点を重視しています。また、本人の理想と現実との乖離が出ないように、入社前にミスマッチをなくしておくことは重要だと考え、2次面接までを若手社員だけに任せています。現場で働く年齢の近い社員から直接会社のこと、仕事のことを聞いてもらい、事前に出来るだけ分かって入ってもらいたいという思いからです。これは定着にもつながることだと考えています。

Q2 従業員の定着のために、どのような取り組みをされていますか。

採用面接を若手社員に任せているのも、その一つです。応募者への説明や質問のためには、会社や仕事のことを勉強するでしょうし、入ってもらいたいと思えば一生懸命に会社のいいところを探すでしょう。それが会社へ愛着を持つこと、定着することにつながると考えています。また、個人の技量を測り、技量に応じた教育訓練をするために、「力量MAP」というものを作り、一人一人の技量を記録しています。何をどれだけ出来るようになったか、次は何に挑戦すればいいか、何が得意か等々、自分のスキルの見える化ツールです。自分のことを客観的に知ること、目標を持ち、モチベーションを高く仕事に取り組んでもらいたいと思っています。他にも様々な取り組みを通して、縁あって入ってくれた社員たちの定着を図っています。

Q3 従業員を育成・教育する上で、課題となっていることはありますか。

「成長に対する評価」は永遠の課題です。資格を取得したり、設定目標を達成しても、それが会社の利益に繋がっていなければ正しい「評価」をしてあげることは出来ません。経営者としては、会社の利益と個人の成長をどうリンクさせて評価するか、見極めるのが大変難しいです。

Q4 職業能力開発センターの魅力、期待はどんなところでしょうか。

これまでもセンターの事業を利用してきましたが、設備や指導員等が魅力的なセンター・校の事業や施設を引き続き利用していきたいと考えていますので、今後の事業展開に期待しています。訓練を受講している生徒さんたちについては、入った時から目標がはっきりしていて、しっかり出口を見据えて訓練を受けているので、そういう人材を輩出していることは大きな魅力です。

Q5 これからの企業活動について、どのようにお考えですか。

多摩地域には様々な技術を持つ会社が集まっています。これら企業と何かしら連携をしたいと考えています。中小企業振興公社の勉強会に参加しているのもそういう思いからです。また、グローバル社会にあって、飛び交う様々な情報の中から正確な情報を掴むこと、また、本当に必要な情報を見極めることはとても重要です。そして、その情報をしっかりと分析し、会社を、社員を、ミスリードしないように導いていかなければならない、と気を引き締めています。

長瀬社長ありがとうございました！